

## 低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
1	資材費(仮設材含む)の低減	
②	労務費の低減	直雇用の作業員を使用。同種工事に精通した作業員を配置する施工体制を構築し作業効率の向上による作業員数の低減。
③	機械経費の低減	自社機械の活用。
4	新材料・新技術	
⑤	作業効率の向上	同種工事に精通した作業員を配置する施工体制を構築し作業効率を向上。
6	下請業者の協力	
7	経費の低減	
⑧	現場管理費低減	会社が施工場所と近距離。
9	安全資機材低減	
10	本支店経費の低減	
11	利益の低減	
12	受注実績の取得	
13	売上の確保	
14	その他	

比較表-1

## 積算内訳書の比較表

記入要領												
1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。												
工事名		垂水宿舎等給排水管工事										
工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
垂水宿舎2号棟	式	1	4,570,428	1	3,124,312	68.4%	1	2,500,000	1	4,513,340	55.4%	
垂水宿舎3号棟	式	1	4,570,428	1	3,124,312	68.4%	1	2,500,000	1	4,240,802	59.0%	
鳴尾宿舎C棟	式	1	4,570,428	1	3,124,312	68.4%	1	2,360,000	1	4,397,780	53.7%	
直接工事費	式	1	13,711,284	1	9,372,936	68.4%	1	7,360,000	1	13,151,922	56.0%	
共通仮設費	式	1	434,297	1	300,000	69.1%	1	15,000	1	420,593	3.6%	
共通仮設費	式	1	434,297	1	300,000	69.1%	1	15,000	1	420,593	3.6%	
純工事費	式	1	14,145,581	1	9,672,936	68.4%	1	7,375,000	1	13,572,515	54.3%	
現場管理費	式	1	2,589,828	1	1,200,000	46.3%	1	1,881,000	1	2,539,178	74.1%	
工事原価	式	1	16,735,409	1	10,872,936	65.0%	1	9,256,000	1	16,111,693	57.4%	
一般管理費等	式	1	1,712,032	1	707,064	41.3%	1	1,824,000	1	1,651,448	110.4%	
工事価格	式	1	18,447,441	1	11,580,000	62.8%	1	11,080,000	1	17,763,141	62.4%	

比較表-2

## 内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工事名	垂水宿舎等給排水管工事													
垂水宿舎2号棟	式	1		4,570,428	1		3,124,312	1		2,500,000	1		4,513,340	
給水設備工事	式	1		2,744,586	1		2,110,390	1		1,700,000	1		2,743,986	
排水設備工事	式	1		1,825,842	1		1,013,922	1		800,000	1		1,769,354	
垂水宿舎3号棟	式	1		4,570,428	1		3,124,312	1		2,500,000	1		4,240,802	
給水設備工事	式	1		2,744,586	1		2,110,390	1		1,700,000	1		2,743,986	
排水設備工事	式	1		1,825,842	1		1,013,922	1		800,000	1		1,496,816	
鳴尾宿舎C棟	式	1		4,570,428	1		3,124,312	1		2,360,000	1		4,397,780	
給水設備工事	式	1		2,744,586	1		2,110,390	1		1,700,000	1		2,780,788	
排水設備工事	式	1		1,825,842	1		1,013,922	1		660,000	1		1,616,992	
直接工事費	式	1		13,711,284	1		9,372,936	1		7,360,000	1		13,151,922	
共通仮設費	式	1		434,297	1		300,000	1		15,000	1		420,593	
共通仮設費	式	1		434,297	1		300,000	1		15,000	1		420,593	
純工事費	式	1		14,145,581	1		9,672,936	1		7,375,000	1		13,572,515	
現場管理費	式	1		2,589,828	1		1,200,000	1		1,881,000	1		2,539,178	
工事原価	式	1		16,735,409	1		10,872,936	1		9,256,000	1		16,111,693	
一般管理費等	式	1		1,712,032	1		707,064	1		1,824,000	1		1,651,448	
工事価格	式	1		18,447,441	1		11,580,000	1		11,080,000	1		17,763,141	

比較表-3

## 手持ち資材の比較表(主要資材)

品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)				官単価※ (最終)	備考	
				手持ち数量	単価	本工事での使用予定量	不足数量の手当方法	手持ち数量	単価	本工事での使用量	不足数量の手当方法			
該当なし														

記入要領

- 1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。
- 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。
- 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。
- 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。
- 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名 垂水宿舎等給排水管工事













工事費

注1)消費税抜きで記入してください。

注2)下請者の工事費内訳は一次下請調査票『B-2票』シートの総合計欄(赤枠)の金額を転記してください。

Ⅲ 工事費内訳

金額単位:千円

費目	元請+元請外注	元請	元請外注 合計	1	日本断熱株式会社 機械設備工事
① 直接工事費	7,354	6,572	782		782
(1) 材料費	4,452	3,722	730		730
(2) 労務費	2,850	2,798	52		52
(3) 機械機具等損料	9	9	0		0
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	0	0	0		0
(5) 直接経費	0	0	0		0
イ 特許使用料	0	0	0		0
ロ 光熱電力使用料	0	0	0		0
(6) 特殊経費	43	43	0		0
イ 処分費	28	28	0		0
ロ 上・下水道料金	3	3	0		0
ハ 有料道路利用料	12	12	0		0
② 間接工事費	1,902	1,784	118		118
(1) 共通仮設費	15	15	0		0
イ 運搬費	0	0	0		0
A 機器材	0	0	0		0
1) 仮設材①	0	0	0		0
2) 仮設材②	0	0	0		0
3) 仮設材③	0	0	0		0
4) 敷鉄板①	0	0	0		0
5) 敷鉄板②	0	0	0		0
6) 敷鉄板③	0	0	0		0
7) 敷鉄板④	0	0	0		0
8) 橋梁等架設支保工	0	0	0		0
9) 橋梁用架設タワー等	0	0	0		0
10) 橋梁用架設桁設備	0	0	0		0
11) 積み込み取り卸し費	0	0	0		0
12) トンネル用スライドセントル	0	0	0		0
13) その他①	0	0	0		0
14) その他②	0	0	0		0
B 建設機械Ⅰ	0	0	0		0
1) 貨物自動車等による運搬	0	0	0		0
2) 自走による運搬	0	0	0		0
3) 日々回送による運搬	0	0	0		0
4) 現場内小運搬	0	0	0		0
C 建設機械Ⅱ	0	0	0		0
1) 貨物自動車等による運搬	0	0	0		0
2) 自走による運搬	0	0	0		0
3) 現場内小運搬(内分解組立費)	0	0	0		0
ロ 準備費	4	4	0		0
A 準備・測量等	4	4	0		0
B その他	0	0	0		0
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0		0
ニ 安全費	4	4	0		0
安全留意度 「建設工事公衆災害防止対策要綱」につ いて選択		1	最小限の安全対策		
A 安全管理費	4	4	0		0
工事区域内全般の安全管理上の監 視、あるいは連絡等に要した費用(稼 働日の保安要員等の費用を含む)	0	0	0		0
2) 不稼働日の保安要員等の費用	0	0	0		0
標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード 等の安全施設類の設置、撤去、補修に要し た費用及び使用期間中の損料	3	3	0		0
4) 夜間作業を行う場合における照明に 要した費用	0	0	0		0
5) 酸素欠乏症の予防に要した費用	0	0	0		0
6) 河川、海岸工事における救命艇に要 した費用	0	0	0		0
7) 粉塵作業の予防に要した費用	0	0	0		0
8) 長大トンネル等における防火安全対 策に要した費用	0	0	0		0
9) 安全用品等の費用	1	1	0		0
10) 安全委員会等に要した費用	0	0	0		0
11) 再圧装置設置、撤去、維持管理に要 した費用	0	0	0		0
B 交通誘導員等	0	0	0		0
1) 交通誘導員A	0	0	0		0
2) 交通誘導員B	0	0	0		0
C 鉄道空港安全管理	0	0	0		0
D 高圧作業予防	0	0	0		0
E 航路安全標識・警戒船	0	0	0		0
F ダム発破・監視費	0	0	0		0
G トンネル工事における呼吸用保護具	0	0	0		0
H 水雷・傷害保険料	0	0	0		0
I その他( )	0	0	0		0
ホ 役務費	0	0	0		0
A 土地の借上費	0	0	0		0
B 電力用水等基本料	0	0	0		0
ヘ 技術管理費	0	0	0		0
A 品質管理費等	0	0	0		0
B 特殊な品質管理	0	0	0		0

C	現場条件等費用	0	0	0	0
D	各種調査等	0	0	0	0
E	各種台帳等	0	0	0	0
F	その他	0	0	0	0
ト	営繕費	4	4	0	0
A	建物費	0	0	0	0
B	借上費	0	0	0	0
C	宿泊費	0	0	0	0
D	労働者送迎費	0	0	0	0
E	監督員詰所等	4	4	0	0
F	労働者海上輸送費	0	0	0	0
G	その他( )	0	0	0	0
チ	イメージアップ費	3	3	0	0
A	仮設備関係	0	0	0	0
B	営繕関係	3	3	0	0
C	安全関係	0	0	0	0
E	その他	0	0	0	0
リ	回航・えい航費	0	0	0	0
A	回航費	0	0	0	0
B	えい航費	0	0	0	0
ヌ	その他( )	0	0	0	0
(2)	補償費	0	0	0	0
(3)	現場管理費	1,887	1,769	118	118
イ	労務管理費	0	0	0	0
ロ	安全訓練等費用	0	0	0	0
A	安全・衛生に要した費用	0	0	0	0
B	研修訓練等に要した費用	0	0	0	0
ハ	租税公課	0	0	0	0
ニ	社員等従業員給料手当	1,260	1,260	0	0
ホ	退職金	0	0	0	0
ヘ	保険料	0	0	0	0
A	火災保険	0	0	0	0
B	工事保険	0	0	0	0
C	自動車保険	0	0	0	0
D	組立保険	0	0	0	0
E	法定外の労災保険	0	0	0	0
F	その他損害保険	0	0	0	0
ト	法定福利費	461	453	8	8
A	労災保険料	53	53	0	0
B	雇用保険料	33	32	1	1
C	健康保険料(介護保険料含む)	136	133	3	3
D	厚生年金保険料(児童手当拠出金含む)	234	230	4	4
E	建退共制度掛金	5	5	0	0
F	船員保険料(介護保険料含む)	0	0	0	0
チ	福利厚生費	0	0	0	0
リ	補償費	0	0	0	0
ヌ	通信交通費	32	32	0	0
ル	交際費	0	0	0	0
ヲ	寄付金	0	0	0	0
ワ	事務用品費	12	12	0	0
カ	動力・用水光熱費	0	0	0	0
ヨ	工事実績登録費	12	12	0	0
タ	その他( )	0	0	0	0
レ	外注経費(外注一般管理費等)	110		110	110
					外注経費(外注一般管理費等)の自動計算値→
(4)	機器間接費	0	0	0	0
イ	技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	0	0	0	0
ロ	機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	0	0	0	0
③	外注費		900		
④	一般管理費等	1,824	1,824		
⑤	鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	0	0	0	0
⑥	別途調査等工事価格	0	0	0	0
⑦	工事価格	11,080	11,080	900	900
					工事価格の自動計算値→
⑧	消費税相当額	554	554		
⑨	工事請負金額	11,634	11,634		
⑩	営繕費のうち、地地に要した費用	0	0	0	0
⑪	準備費のうち伐開・除根・除草等に要した費用	0	0	0	0
⑫	二次下請負者の数	0		0	0
⑬	二次下請負者の外注経費(外注一般管理費等)の合計	0		0	0
⑭	二次下請負者への発注工事価格の合計	0		0	0
⑮	延実人員数と作業日数				
(1)	労働者延人員	229	225	4	4
(2)	(1)のうち通勤労働者延人員	11	9	2	2
(3)	交通誘導員A延人員	0	0	0	0
(4)	交通誘導員B延人員	0	0	0	0
(5)	技能関係等従事者延人員	0	0	0	0
(6)	技術事務関係社員等従業員延人員	0	0	0	0
(7)	作業日数			2	2
(8)	延べ人員合計(1)+(3)+(4)+(5)+(6)	229	225	4	4
(9)	従事者延べ人員(A-2票又はA-②票の入力値)	229	225	4	4